

スマート農業を活用した面的適期防除の実施

地域活性化



近年、生産者の間でイネカメムシによる被害が多発し、大幅な減収に見舞われるという深刻な課題を抱えていました。不稔による収量減少や斑点米による品質低下などの被害も発生しており、生

産者からの「なんとか効果的な対策はないか」という切実な声を受けて白石課長が立ち上がりました。

そこで提案したのが、スマート農業を活用した広域的な空中散布です。

イネカメムシの被害を防ぐためには、個人での防除を実施するよりも広域的に一斉に防除を実施する方が効果的であり、ICT（情報通信技術）を駆使し、地域全体でタイミングを合わせた確な防除と、効果的な薬剤選定を実施しました。

広域的な防除を実施するため、令和6年12月に空中散布要望調査を実施し、約1,100ha規模の面積で要望がありました。

また、実施するにあたり、隣接する圃場で品種や作付け時期が違ふ場合があるた

め、生産者に散布日の希望をとり、令和7年7月上旬から8月中旬にかけて空中散布を実施しました。

これにより、イネカメムシの被害を大幅に軽減することに成功しました。

広域で防除を実施したため、イネカメムシがあまり見られなくなり、収量や収入が回復し、生産者の方々からも「被害がなく、収量も昨年より多く、収入も増えた」「被害がなくなり、不安が解消された」と喜びの声と高い評価が寄せられました。



2025年度TACパワーアップ埼玉県大会において、県内23事例の中から最高賞の埼玉県知事賞を受賞しました。



JAの想い

今回の訪問活動では、生産者の皆様から多くの課題やニーズを伺うことができました。

た。その一つひとつに真摯に向き合い、地域ごとに最適な対応策を検討した結果、JAが中心となって広域防除を実施する

体制を築くことができました。

JAはこれからも、地域の皆様に寄り添い、課題解決に向けた訪問活動と情報

収集を継続し、「地域農業の力になりたい」という想いを行動で示してまいります。